４　職　員　の　研　修

「名古屋市保育所人権保育指針」の２つの理念と５つの方針を、保育所保育の中で実現させていくために、研修を充実させることは重要な課題です。

さまざまな人権に関する研修に積極的に参加し、広く人権についての知識を得て、理解を深め、自己啓発をし、保育に生かしていくことが大切です。

職場においては、人権保育の研修計画を作成し、目的意識を持って研修に取り組むようにします。職場内研修では、職員同士が共通したテーマについて意見交換を行い、相互に意識を高めあうことができます。

職場内研修の進め方

- 「名古屋市保育所人権保育指針」の読みあわせを行い、感想や意見を出し合い、理念・方針の理解を深める。
- 日ごろの保育の中で、人権保育の視点から見て気になるところを職員間で率直に出し合い、話し合いを行う。
- 毎月の保育反省の中に、人権保育の視点を取り入れた評価反省を行う。
- 「名古屋市保育所人権保育指針推進編」の項目の中で、関心が高い項目を取り上げ、それらの「人権保育の視点」「具体的な対応」「保育の事例」を参考にして、人権保育の実践を積み上げる。
- 保育目標、保育計画、年間指導計画を人権保育指針の理念や方針を取り入れたものに見直す。
- 次ページ掲載の事例を参考にした内容で研修会を持ち、人権感覚を磨く。
- 人権に関する文献・教材による研修を行う。

◆　保育の事例

保育計画の中で、人権保育にかかわる部分を抜粋しました。

保育の目標	1　くつろいだ雰囲気の中で、子どものさまざまな欲求を適切に満たし、情緒の安定を図る。 2　健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。 3　**人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にする心を育てる。** 4　身のまわりのことについての興味や関心を育て、思考力の基礎や創造性の芽生えを培う。

		養　護	教　育
年齢別のねらい	0歳	・ **甘えなどの依存欲求を十分に満たし、一人ひとりの気持ちの安定を図る。** ・ 保健的で安全な環境をつくり、体の状態を細かく観察し、病気や異	・ **聞く、見る、さわるなどの経験をたっぷりさせ、五感を豊かにする基礎を培い、感受性を育てていく。** ・ 身のまわりのものに対する
	2歳	・ **一人ひとりの子どもの欲求を満たし、「受け入れられている」という安心感を持たせる。** ・ 昼寝など、適切に休息の機会をつ	・ **生活に必要な基本的な活動を自分でしようとする主体性の基礎を育む。** ・ 全身や手指を使うあそびを
	5歳	・ **一人ひとりの子どもの気持ちを受容し、保育士との信頼関係の中で、安心感、安定感、満足感、存在感を大切にし、情緒の安定した生活ができるようにする。**	・ **周りの人々に親しみを深め、集団の中で自己主張したり、人の立場を考えながら行動し、人権を尊重する感覚を育てる。**

◆　職場内研修の事例

頭と体と心で人権を体感してみましょう

知らず知らずのうちに、頭と体で得てしまった固定観念。たとえば、じゃんけんは、私たちが知らないうちに体で覚えてしまい、勝つように自然に手が出てしまうもの。差別も、長い歴史の中で身につけてしまった習慣である。

1．「外科医の息子はだれ？」

ある休日の高速道路での自動車事故。大破した車に乗っていたのは父親とその息子。事故の発見者がすぐに救急車を呼んだが、父親は即死、後部座席に乗っていた子どもは全身を強く打ち意識不明の重体。間もなく運ばれた救急病院でその子を見た外科医はわが目を疑った。

「信じられない。この子は私の息子！」

（中川喜代子著「偏見と差別のメカニズム」より編集）

※この話どこか変だなと感じた人はいませんか？

2．あと出し負けじゃんけん

(1) ２人組になってじゃんけんをする。

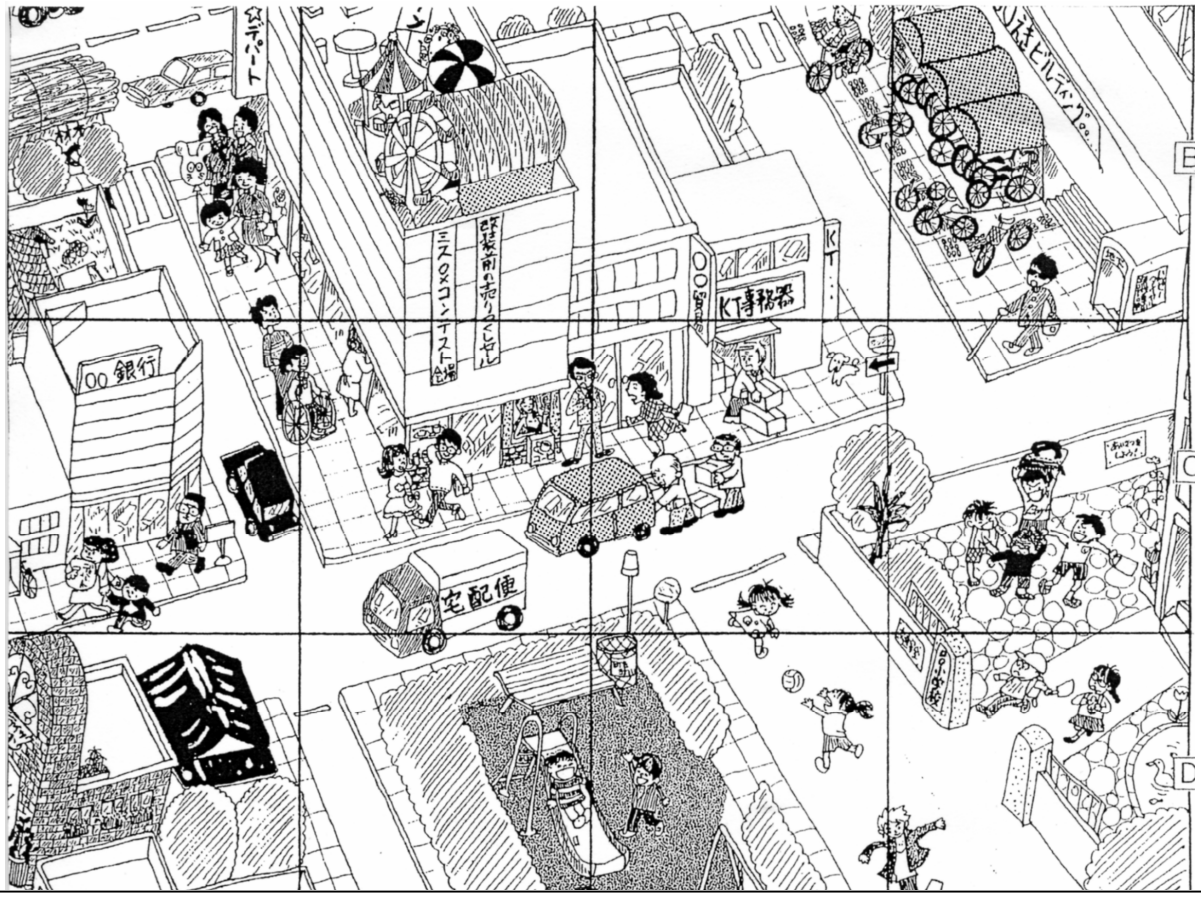
(2)勝った人が先に出す人になる。

(3)あと出し負けじゃんけんをする。

※あと出しじゃんけんは、普通は勝つが、負けるように出す。続けて３回行ったら、気づいたこと、感じたことを２人で話し合う。

3．わたしたちのまち　再発見！

※まちの中にある人権に関することについて、みんなで探して話し合ってみましょう。



（部落解放・人権研究所研究部高校部会「わたしのナビゲーション」より）

職員向け図書の紹介

●『人権の絵本　全６巻』（喜多明人・岩川直樹・満川尚美・岩辺泰吏編集　大月書店）

私って何？人権って何？を考え、人権の大切さを実感できる絵本
①じぶんを大切に　②ちがいを豊かさに　③それって人権？
④わたしたちの人権宣言　⑤タイムトラベル人権　⑥学びの手引き

●『すべての子どもたちのために』（キャロライン・キャッスル著　ほるぷ出版）

世界各国の画家が絵を描いた権利条約の絵本

●『お母さんが話してくれた生命の歴史　全４巻』（柳澤桂子著　岩波書店）

壮大な自然のドラマ―生命の誕生の不思議と進化の物語。人間を、生命を考えるシリーズ
①いのちのはじまり　②いのちの設計図　③進化する生き物たち　④人間ってなんだろう

●『アジアの友だちに会おう！』（ユネスコ・アジア文化センター企画　東京書籍）

アジア太平洋の文化を知るための絵本

●『子どもの権利条約を読み解く』（大田堯著　岩波書店）

画期的な「条約」を手がかりに、21 世紀を生きる子どもたちの心と体に何を培い、育んでいくか？の教育論を展開する

●『子どもの権利条約と保育』（鈴木牧夫著　新読書社）

発達心理学の知見をもとに子育てのあり方を検討する

●『人権保育カリキュラム』（鈴木祥蔵・堀正嗣編著　明石書店）

全ての子どもの人権を保障する「人権保育」の内容を明らかにする

P. 59 の１のヒント
外科医は男性とは限りません

●『人権保育とはなにか？』（玉置哲淳著　解放出版社）

人権保育の考え方と具体化への提言

●『子どもの人権と保育・教育』（岩堂美智子・吉田洋子編・著　保育出版社）

子どもの人権をめぐるさまざまなテーマ（虐待・性差別・部落差別・障害者差別・在日外国人差別など）について用語の解説も含め書かれている。また、海外の人権保育の取り組みについても紹介されている

●『多文化共生保育Ｑ＆Ａ』（大阪保育子育て人権情報研究センター）

さまざまなちがいを理解し認めあうために、保育の場で直面する課題を具体的にＱ＆Ａ形式で著す。「資料編」では外国の遊びや行事、多文化の教材を紹介